



ひろば
大代

No. 558

令和8年1月号

大田市の人口
(R8.1.1現在)
大田市 30,786 人
内大代町 269 人
男 129 人
女 140 人

東京石見高山会会長の 交代について

交代について

東京石見高山会 市原幸文

大代の皆様、関西高山会、東京石見高山会の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで清々しい穏やかな新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、表題に掲げましたが、昨年の十一月の第三十八回総会において、新会長として大場隆男様が選出されました。副会長には武田敏子様、監事として渡井和男様、幹事として、岡田修二様、横手由美子様、私は顧問となり、全員で六名で運営していく事となりました。

東京石見高山会は故米原光義様の発起により、昭和六十年（一九八五年）に第一回が開催され、爾來令和七年（二〇二五年）で四十年間継続されています。

初代会長は渡俊則様、二代目は田中憲経様、三代目は楠義見様、四代目は今田潔様、五代目は松本健一様、六代

目が市原幸文、そして七代目が新会長の大場隆男様になります。

第十回には大代神楽団に上京して頂

き、大代から三十五名、関西高山会から四名、在京者六十一名で、合計百名の参加者で賑わいましたが、この四年の間に大代の人口も減少し、さらに遠隔地の関東に就職する方も稀となり新会員が無く、現会員も高齢となり、物故者も多く、外出にも不自由な方が増え、参加者が減少しています。

このような状況の中、もう少し頑張って運営して見よう。と言うことになりました。

関東にお住まいのご兄弟やお子様方がありましたら、まちづくりセンター長の永井利樹様に伝言をお願い致します。会長在任中は大変お世話になりました。会長在任中は大変お世話になりました。



新年の挨拶

関西高山会会長 砂原政好

新年明けましてお目出度う御座居ます。

大代高山会、東京高山会、関西高山会の皆さん本年もよろしくお願ひ致します。

皆さんにおかれましては二〇二六年を迎えるに当たり穏やかで暖かなお正月を迎える事が出来たでしようか。ウマーク希望を開く年になる様にしたいのですね。皆さん今年も又、地震ですね。何と島根県で起きたのが関西でも震度3ですよ。段々と広範囲になりますね。

さて、高山会の皆さんにとつて健康で幸せな一年になる様に勇気を持つて、一步を踏み出し、未来を切り開く強さを身に付けて世の中に挑戦して見ませんか。今、社会は、大きな転換期を迎えているのではないでしようか。今年は午年だから、年賀状に「みんなウマ一クいくように」と書いてあるのが目

立ちます。馬はかつては、農耕や輸送、乗り物に使われて人間に取つて身近な存在でしたね。日本では、神様の乗物とされ神事や

祭りでは立役者でした。十二支の七番目午年と言う事ですね。そして馬が大地を駆け抜ける様に一歩一歩確かに変化を作り真っすぐに力強く迷わず前に進む年に高山会もウマーク前進しようと。



新年の挨拶

大代消防団 長谷和孝

新年明けましておめでとうございます。

平素より消防団活動に対しましてご理解ご協力ありがとうございます。令和七年四月に四班の輸送車と小型ポンプなどの消防機材が新しくなりました。今年の大田市消防出初め式、ならびに6月14日(日)に兵庫県の尼崎でホテルヴィスキオ尼崎を予約しています。多数の参加をお待ちしています。皆さんの知恵と力をつくしてウマーク高山会が続けて行ける様に希望を持つて前に進みませんか。関西におられる方を紹介して下さい。お願ひします。何でもウマーク行く年になる事をお祈り致します。



A vertical scroll featuring a large 'おめでとうございます' message in the center, surrounded by colorful stylized flowers and the text '二十年の命' on the left side.

番思い浮かんだのは飲酒解禁でした。現在は米子市に住んでいますが、人生で初めてのお酒は実家に帰省して、両親と嗜みました。顔が赤くなつて、どんどん眠たくなつてきて、これがお酒かとしつかり味わいました。これら社会人になるにあたり、飲み会などでお酒に飲まれないよう気をつけていきます。

誕生日を迎えた日の夜に、二十年も生きた自分も、育て、見守ってくれた両親も頑張つたなと思いました。

私は生まれてすぐ、先天性の呼吸器の病気でした。心臓が良くなく、産院

「どのくらいの余命だったの？」と母に一度だけ訪ねたことがあります。ショックで覚えていない。一年もなかつた。と教えてくれました。私の命が今もなお続いているのは、両親や祖父母見守つてくださった沢山の方々のおかげだと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、この二十年という人生の中で、幼い頃から私を見守り育ててくれた大叔母が六月に他界しました。お通夜に行く前までは、まだ亡くなつたという実感が沸かず、ただ悶々としていました。今まで他の親族のお葬式では泣いたことがなかつたので、今回も泣かないだろうと思つていました。ですがそれも棺の中で眠る姿を見た瞬間。涙が止まりませんでした。大好きな人が亡くなることがこんなにも悲しいとそこでやつと実感を持ちました。私が年長の頃、「あなたがせめて高校を卒業するまでは生きていたい。」と大叔母が

二十歳を迎えて

言つていてくれました。その言葉より2年も長く生きててくれて、約束を守つてくれてすごく嬉しかつたです。大母母が亡くなつた2日後に第一希望の会社から内定をいただきました。「人が亡くなつた後には善い事が起る」と聞いたことがあります。大母母のお陰で春から、福岡で新しい人生。大人として、社会人として初めての一歩を踏み出すことができます。

これまでの人生、これから的人生の一日一日を大切にこの先も生きていきたいと思います。

二十歳を迎えて



柿田 岡田七海

昨年の八月に無事に二十歳を迎えることができました。ここまで成長することができたのは、家族をはじめ友人や先生方、そして地域の皆さんのが支えがあつたからだと感じています。心より感謝しています。

高校卒業後、看護大学に進学し、看

護師になるために勉強しています。試験や実習など大変なこともありますが頑張つて取り組んでいきたいと思います。また、バイトなどの社会経験を通して多くのことを学び、大人として成長できるよう頑張ります。

まだまだ未熟で学生の身であります。が、家族や周囲の方々に支えられていますことに感謝し、成人として責任ある行動を心がけ、社会に貢献していきたいと思います。



俳句

✿ あすなろ句会 ✿

川上 岩田律枝

正月やひ孫誕生祝いおり

水仙の一、二輪咲き庭の隅

上市 横田美恵子

鐘一つ打てた喜び初明り
蠟梅の一分切りて香り待つ



1月2日午後1時から山辺八代姫命神社遥拝所に於いて、大江高山神楽社中新春神楽が開催されました。

昨年度から、町内外の子どもたちも入団して、子猿がいっぱい賑やかな神楽公演になりました。町内の小学生は、塩祓いデビューをし、親子共演もあり、大雪の中でしたが町内外の皆さんも拍手喝采で楽しんでおられました。



2月行事予定

▼ 4日（水）住民税出張申告相談
13時30分～まちセン

▼ 22日（日）大代高山会定例会
25日（水）地区社協講演会 14時～
13時30分～15時30分

5日・12日・19日・26日（木）
13時～3時は午後開催になります